

回遊性を高める取り組みのアイディア出しの結果一覧 ポイントを強調

取組1 情報提供
<ul style="list-style-type: none">“しっかりした”案内人がいることが重要 例)おいしい店、おすすめの土産品などしっかり答えられる人(公平性にこだわらない)
<ul style="list-style-type: none">名物になるようなガイド人、今の時代は何を言ったかより、誰が言ったかの時代 消費期限は短くても本当においしいものの情報を出す 道の駅を基点とした情報提供を(道の駅から何分など) いまある観光マップだけではなくて、ちょっと手を加え情報を盛り込み仕掛けのあるマップ 昨年のブランド部会で出された提案に取り組み
<ul style="list-style-type: none">現時点の旬の情報と、次のシーズンの情報、両方の発信が必要 「戦国」「アウトドア」「カメラ」など、趣味ごとの視点での情報
<ul style="list-style-type: none">子育て家族向け、高齢夫婦向け、女子旅向けなど来訪者に沿った視点での情報提供 インスタ映え(写真映え)する大野の魅力の整理を行い、情報提供する(20、30個・箇所) シニアの方が、ゆっくりとまちなかを楽しめるプランを作成、情報提供してはどうか RVパーク利用者は滞在時間が長いので、まちなかに誘導しやすいのではないか、RVパーク利用者向けの情報提供 道の駅の近くのお店の情報提供
<ul style="list-style-type: none">口コミを誰に言ってもらうのか、仕掛けの企画力が大事
<ul style="list-style-type: none">県内の山やキャンプ場、花、鳥などアウトドア情報の拠点を目指す(モンベルも併設されるため) まちなか観光の鍵・基点となる結ステーションやその周辺スポットをしっかりと紹介する
<ul style="list-style-type: none">まちなかで行われるイベントカレンダー(通年や3ヶ月毎など)、加えて、民泊・簡易宿泊所の情報を掲載 デジタルサイネージの映像にQRコードなどを埋め込み、実店舗でお得なサービスがうけられる仕組み
<ul style="list-style-type: none">公平性を廃したオススメの情報提供、ランキングによって紹介する仕組み
<ul style="list-style-type: none">地域住民に観光案内人となってもらい地区の魅力を発信してもらう 結なびを活用し、道の駅周辺の歴史情報を提供 子育て世代の悩み解消　道の駅のほか市内の子どもの遊び場や子ども向け飲食メニューが充実した店舗を紹介するマップを作成 小さい子ども連れだと案内所で説明を聞く、パンフレットを探す、ということが面倒、要点だけを大きな表示でアピールする
<ul style="list-style-type: none">大野で過ごすオススメのスケジュールを情報提供　子連れ、カップル、友達といったシチュエーション別、じっくり、さっくりといった時間別に分ける

取組4 道の駅WEB・SNS

- 道の駅WEBの**デザイン**やトップページの**写真**などはとても重要
- 道の駅を基点とした(道の駅から〇〇)表現**にこだわる必要がある
- 季節モノの情報**をアップすることが必要。今はツイッターなど**SNSで必要な情報を検索**する時代
- (取組1に関連して)観光案内人などWEBにおいても**顔を出して**、安心感や信頼感を与えられる工夫をしてはどうか
- 地元高校生、大学生をインフルエンサー**として活用(授業の一環、アルバイトも?)
- 恐竜博物館のターゲットは小学校3年生
- 来訪者に大野での感想をSNSにあげてもらう　感想をあげてくれた方にお得な特典をプレゼントする
- #まいおおの 写真展**を道の駅で開催する
- 産直の会においてフェイスブック**を開設し、**産直の会会員(大野人)の顔が見える・商品が分かる冊子**を作成する
- フェイスブックページとを連動させて、ページに「いいね」をして個店に行くど「言い値(良い値)」で商品が買える
- コミュニケーションを生み**、お店のファンになってもらうことが狙い

- 大野インターや大野東インター、これら地域に特化した写真を募る**インスタグラム**を開設「大野インターグラム」

道の駅「大野」の案内板

<ul style="list-style-type: none">話題になる、行きたくなるスポットがまちなかにほしい(田村家の風車の取組など) 雪像・雪だるまなど、冬の目玉企画をまちなかに イベントを定期的に実施する 例)新酒まつり、新そばまつり、新酒まつり、ランタン・・・など。実際、「大野市内内にか今イベントやっていますか？」との電話が多い 年中郷土料理が食べられる店が必要。おろしそば、さといものっこうがし。尚、まちなかは2時で店じまいするところが多いので最低4時頃までは営業してほしい あわら温泉のニューハーフをまちなかに招待すると話題性があって面白いのでは(日中は忙しくない)	<ul style="list-style-type: none">赤と青のまちなか循環バスに「黄バス」を追加し、市内の観光地を巡回するバスを設ける
--	---

その他取組

- 話題になる、行きたくなるスポット**がまちなかにほしい(田村家の風車の取組など)
- 雪像・雪だるま**など、**冬の目玉企画**をまちなかに
- イベントを定期的に実施**する 例)新酒まつり、新そばまつり、新酒まつり、ランタン・・・など。実際、「大野市内内にか今イベントやっていますか？」との電話が多い
- 年中郷土料理が食べられる店**が必要。おろしそば、さといものっこうがし。尚、**まちなかは2時で店じまいするところが多い**ので最低4時頃までは営業してほしい
- あわら温泉のニューハーフをまちなかに招待すると話題性があって面白いのでは(日中は忙しくない)

- 赤と青のまちなか循環バスに「黄バス」を追加し、**市内の観光地を巡回するバス**を設ける

取組2 企画
<ul style="list-style-type: none">事業者と連携したクーポンなどは正直効果が薄いことはないか？ クーポンについて、数が多すぎたりするものは、やる気がなくなったりする。あと1つ、2つなど数がすくない仕掛けだと、それならやってみようか...という気持ちになる。
<ul style="list-style-type: none">今は、モノ消費⇒コト消費の時代で、さらに、トキ消費に向かっている。「今日しかないもの」などを提案しつつ、4月まで・4月だけ使えるクーポンなどでリピーターを確保しては。 道の駅と結ステーションとが連携した企画
<ul style="list-style-type: none">宝探的要素、クロスワードパズルの要素などを入れた、一工夫したスタンプラリー フードコートと市内の飲食店が共に展開・提供するご当地グルメキャンペーン
<ul style="list-style-type: none">例)12月頃から行う新そばキャンペーンを道の駅(フードコートや産直)と連携して行う 道の駅オリジナルのご当地アイドルやキャラクターをつくり話題性と愛されるアイコンに まちなかで、うぐビー、うめビーを探して、見つけると特典がもらえる企画 新しい観光体験メニューの開発を促進する、農業法人にも依頼し農業系の体験も増やす 越前大野城で行われている御朱印帳の取り組みを市内に広げてはどうか
<ul style="list-style-type: none">道の駅とまちなかの飲食店とて統一した企画のキャンペーンを行っては(新そば、でっちようかん、新酒の時期など) そば、醤油カツ丼、とんちゃん、和菓子など大野が誇るA級グルメのお店を紹介、投票などを行う 道の駅から天空の城の撮影会を開催 道の駅で健康になるをテーマに、地場産食材、周辺散策、芝生広場でヨガ体験などを通じて、健康づくりや美の拠点へ 道の駅を「関所」と位置付け、道の駅において城下町へ行くための通行手形を発行する。道の駅に来ないと城下町にいけない？ 防災拠点でもあることから、防災キャンプを道の駅で開催する
<ul style="list-style-type: none">道の駅にレトロな郵便ポストを設置する予定であることから、それらを含めた市内のレトロなスポットをめぐるツアーをつくる 道の駅でイベントを開催する　週末は家族向け、平日はターゲットをしぼった講座など 市内店舗で商品を購入した人に道の駅ですぐに使えるクーポンを配布　帰りに道の駅に寄ってもらい、次大野へ来たときはこれをやろうとリピーターに

取組3 販売

- アユ釣り、里いも掘り、サイクリングなど様々な**体験メニュー**があると良い
- ⇄人が来るのかなど体験企画者や旅行会社にもリスクがある(参考:えにしろバrel)
- 冬などの閑散期にお得なモノやサービスを販売**してはどうか(ゴルフ場の取組が参考になる)
- 「**大野らしい**」商品、コーナーの**充実**..道の駅が魅力的だと、街も魅力的だろうと感じる
- 大野市内のものだけでなく**近隣の市町のお菓子**も置けるように依頼できないか
- 県内の名菓や嶺南の特産品も
- 味噌やさといも入りのご**当地ソフトクリーム**
- 道の駅内とまちなかの店とをセットでめぐり買い物をすると、少しお得になる金券**
- 道の駅に通えば通うほどお得になるスタンプカード**
- スマートフォンなどと連動したクーポン券**の配布
- 観光施設＋食事処＋土産品店等で使えるセットになった割引チケット**の販売(2,000円で2,300円分使えるなど)
- 体験チケットを販売
- 例　せっかく**モンベル**が併設されるので、体験の際、ウェアやグッズなどの提供やレンタルをお願いする。
 - 体験者は普通の服装で訪れながらもモンベルのウェアに着替えて体験ができる。
 - 体験内容としては、2〜3時間でできるもの、米づくりであれば、田植え、草刈り、稲刈り、収穫した米をもらう、など時期に応じて
 - その他、山菜とり、溪流・鮎釣り、鮎の網とり、冬・雪のアクティビティ、道の駅発着による天空の城見学　以上すべてガイド付き
- 春のパンまつり**　産直の会加入者もあり、店舗限定や道の駅限定の商品を販売する
- 夏になると**学生合宿**で訪れる方が増えるため、合宿誘致の際に道の駅やまちなかで利用できる**クーポン**を配布
- 短時間でできる常設体験**　予約制でもなく、事前準備が必要なものでもなく道の駅に立ち寄った際におもしろそうだから、とできる体験
 - 例　野菜掘り体験　完璧な野菜が一番かもしれないけれど、我が子が掘った野菜なら付加価値ができるはず。原木からの椎茸狩りなど

道の駅「大野」の案内板

<ul style="list-style-type: none">赤と青のまちなか循環バスに「黄バス」を追加し、市内の観光地を巡回するバスを設ける	<ul style="list-style-type: none">話題になる、行きたくなるスポットがまちなかにほしい(田村家の風車の取組など) 雪像・雪だるまなど、冬の目玉企画をまちなかに イベントを定期的に実施する 例)新酒まつり、新そばまつり、新酒まつり、ランタン・・・など。実際、「大野市内内にか今イベントやっていますか？」との電話が多い 年中郷土料理が食べられる店が必要。おろしそば、さといものっこうがし。尚、まちなかは2時で店じまいするところが多いので最低4時頃までは営業してほしい あわら温泉のニューハーフをまちなかに招待すると話題性があって面白いのでは(日中は忙しくない)
---	--

道の駅「大野」の案内板

回遊性を高めるためのアイデアを整理

<p>取組1 情報提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ “しっかりした”案内人がいることが重要 ・ 例) おいしい店、おすすめの商品などしっかり答えられる人(公平性にこだわらない) ・ 名物になるようなガイド人、今の時代は何を言ったかより、誰が言ったかの時代 ・ 消費期間は短くても本当においしいもの情報を出す ・ 道の駅を基点とした情報提供を(道の駅から得られた) <ul style="list-style-type: none"> いままを観光マップで行きながら、ちまみと手も加味情報盛り込み仕掛けのあるマップ 昨年の特産品部会で出された提案に取組む ・ 現時点の旬の情報と、次のシーズンの情報、両方の見込が必要 ・ 「戦国」(アウドア)カメラなど趣味ごとの視点での情報 ・ 子育て家族向け、高齢夫婦向け、女子旅向けなど来訪者に沿った視点での情報提供 ・ インスタ映え(写真映え)する大野の魅力の整理を行い、情報提供する(20、30歳/箇所) ・ シニアの方が、ゆっりちまみちまなかを楽しめるプランを作成、情報提供してはどうか ・ RVパーク利用者は滞在時間が長いので、ちまみちまなかに特化しやすいのではないかと、RVパーク利用者向けの情報提供 ・ 道の駅のお店の情報提供 ・ 口コミを誰に言ってもらおうのか、仕掛ける企画力が大事 ・ 県内の山やキャンプ場、花、鳥などアウトドア情報の拠点を目指す(モンベルも併設されるため) ・ まちなか観光の鍵・基点となる観光ステーションやその周辺スポットをしっかりと紹介する ・ まちなかで行われるイベントカレンダー(通年や3ヶ月毎など)、加えて、民泊・農民宿などの情報を掲載 ・ デジタルサイネージの映像にQRコードなどを埋め込み、来店種で様々なサービスが受けられる仕組み ・ 公平性を保ったオススメのランキングによって紹介する仕組み ・ 地域住民に観光案内人として、面白い地域の魅力を発信してもらう ・ 駅名を活用し、道の駅周辺の歴史情報を提供 ・ 子育て世代の悩み解消、道の駅のほか市内の子どもの遊び場や子ども向け飲食メニューが充実した店舗を紹介するマップを作成 ・ 小さい子ども連れだと案内所で説明性紙、パンフレットを提示、というところが面倒、駅名印を大きな表示パネルとする ・ 大野を過すオースムのスケジュールを情報提供、子連れ、カップル、友達といったシチュエーション別、じっくり、まったりといった時間別に分ける 	<p>取組2 企画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業者と連携したクーポンなどは正直効果が薄くはないか？ ・ クーポンに対して、数が多すぎたりするものは、やはり効果がなかったりする。あとつ、2つなど数がすぎない仕掛けだと、それならやってみようか、という気持ちになる。 ・ 今は、モノ消費→コト消費の時代で、さらにトキ消費に向かっている。「今日しかないもの」などを提案しつつ、4月まで4月だけ使えるクーポンなどでリピーターを確保しては、 ・ 道の駅と観光ステーションとが連携した企画 ・ 宝珠、的産業、クロスワードパズルの要素などを入れた、一工夫したスタンプラリー ・ フードコートと市内の飲食店が共に展開・提供すること地グルメキャンペーン ・ 例)自由軒から行う新そばキャンペーンを道の駅(フードコートや産直)と連携して行う ・ 道の駅オリジナルの土地物アイドルやキャラクターなどの話題性と売れるアイディア ・ まちなかで、ういびー、うめこーを絡めて、見つけると特典ももらえる企画 ・ 新しい観光体験メニューの開発促進する。農業法人にも依頼、農業家の体験も増やす ・ 観光客で見て行っている観光地の取組を各町内で行ってほしくないか ・ 道の駅とまちなかの飲食店とで統一した企画のキャンペーンを行う(新そば、でっちようかん、新道の時期など) ・ そば、薩摩うどん、とんちんかん、和菓子など大野が誇るA級グルメのお店を紹介、投票などを行う ・ 道の駅から実証の場の集客会を開催 ・ 道の駅で健康になるをテーマに、地産産物、周辺野菜、養生広場や付体験などを連けて、健康づくりや美の拠点へ、道の駅(案内所)と位置づけ、道の駅において城下町へ行くための通行手形を発行する、道の駅に寄らないと城下町に行けない？ ・ 防災拠点でもあることから、防災キャンプを道の駅で開催する ・ 道の駅にトイ車郵便ポストを設置する予定であることから、それらを兼ねた市内のレトロなスポットをめぐるツアーをつくる ・ 道の駅でイベントを開催する。週末は家族向け、平日はターゲットを絞った講座など ・ 市内店舗で商品を購入した人に道の駅ですぐに使えるクーポンを配布、併りに道の駅に寄ってもらい、次大野へ来たときにも使えるようにしたい。
<p>取組4 道の駅WEB・SNS</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 道の駅WEBのデザインやホームページの写真などはとても重要 ・ 道の駅を基点とした(道の駅から〇〇)表現にこだわることが必要 ・ 季節モノの情報をアップすることが必要、今はツイッターなどにSNSで必要な情報を検索する時代 ・ (取組1に関連して)観光案内人などWEBにないでも顔を出して、安心感や信頼感を生みだせる工夫してはどうか ・ 地元高校生、大學生をインフルエンサーとして活用(授業の一環、アルバイトも？) ・ 恐竜博物館のターゲットは小学生/年生 ・ 来訪者に大野での感想をSNSにあげてもらう、感想をあげてくれた方にお礼の特典をプレゼントする ・ #まいおおの写真展を道の駅で開催する ・ 産直の会においてフェイスブックを開設し、産直の会会員(大野人の顔が見える・商品が分かる冊子を作成するフェイスブックページなどを運営することで、ページにいいねをして、商品にいいねし、店舗で商品が買える ・ コミュニケーションを生み、お店のファンになってもらうことが狙い ・ 大野インターや大野東インター、これら周辺に特化した写真集を撮るInstagramを開設(大野インター・グラム) 	<p>取組3 販売</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アニメ祭り、思い出館)、サイクリングなど様々な体験メニューがあるといい ・ 4人が来るのかなど体験企画書や旅行会社に頼むのがある(参考先にトラベル) ・ 冬などの閑散期にお得なモノやサービスを販売してはどうか(ゴルフ場の取組が参考になる) ・ 「大野らしい」商品、コーナーの充実、道の駅が魅力だと、街も魅力が定まると感じる ・ 大野市内のものだけでなく近隣の市町のお菓子も置くように依頼できないか ・ 県内の名産や特産品の特産品を ・ 味増やさいもりのご当地ソフトクリーム ・ 道の駅内とまちなかの店とをセットでめぐり買い物をすると、少しお得になる金券 ・ 道の駅に道連れは通うほどお得になるスタンプカード ・ スマートフォンなどと連動したクーポン券の配布 ・ 観光施設十倉事処十土産品店等で使えるセットになった割引チケットの販売(2,000円で2,300円分使えるなど) ・ 体験マップを販売 <ul style="list-style-type: none"> 例)セッカモンベルが併設されるので、体験の取、ウェアやグッズなどの提供やレンタルをお願います。 体験内容は普通で売られているからモンベルのウェアに着替えて体験ができる。 体験内容としては、2〜3時間程度できるもの、まづりであれば、田植え、草刈り、稲刈り、収穫した米をもらう、など時期に応じてその他、山菜採り、栗皮、稲刈り、お粥作り、多、道の駅やホテル、道の駅発着には、実証の城見亭、以上すべてで1万円付き ・ 春のパンまつり、産直の会参加者もあり、店舗限定や道の駅限定の商品を販売する ・ 夏になると学生合宿で住れる方が増えるため、合宿体験の日に道の駅やまちなかで利用できるクーポンを配布 ・ 短時間でできる常設体験、予約制でなく、事前準備が必要なものでもなく道の駅に立ち寄った際におもしろそうだから、とできる体験(例)野菜摘み体験、完璧な野菜が一品かもしられけれど、我が子が獲った野菜なら付加価値ができるはず、黒米からの種育ちなど
<p>その他取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 話題になる、行きたくなるスポットがまちなかにほしい(田村家の風車、取組など) ・ 雪像・雪だるまなど、冬の目玉企画をまちなかに ・ イベントを定期的に実施する(例)新酒まつり、新そばまつり、新酒まつり、ランタン、など、実際、「大野市内に何かイベントやっていますか?」との電話が多い ・ 年中開店料理が食べられる店が必要、おもしろそば、さいのものがほしい、例、まちなかは2時で店じまいするところが多いので最低4時までは営業してほしい ・ かわらぬのメニュー、アコースティック演奏など、店舗があっても面白いので、(自営業)行くならほしい ・ 赤と青のまちなか電線バスに「黄バス」を追加し、市内の観光地を巡回するバスを設ける 	

出されたアイデアは、概ね以下の3つに分類される

1. 道の駅に立ち寄ってもらう、リピーターになってもらうための方針・考え方に関するアイデア

例 道の駅における「食」の重要性(道の駅ランキングの上位に入るものは、軒並み食が理由である)、WEBサイトのデザインの重要性 など

2. 回遊性を高めるための方針・考え方に関するアイデア

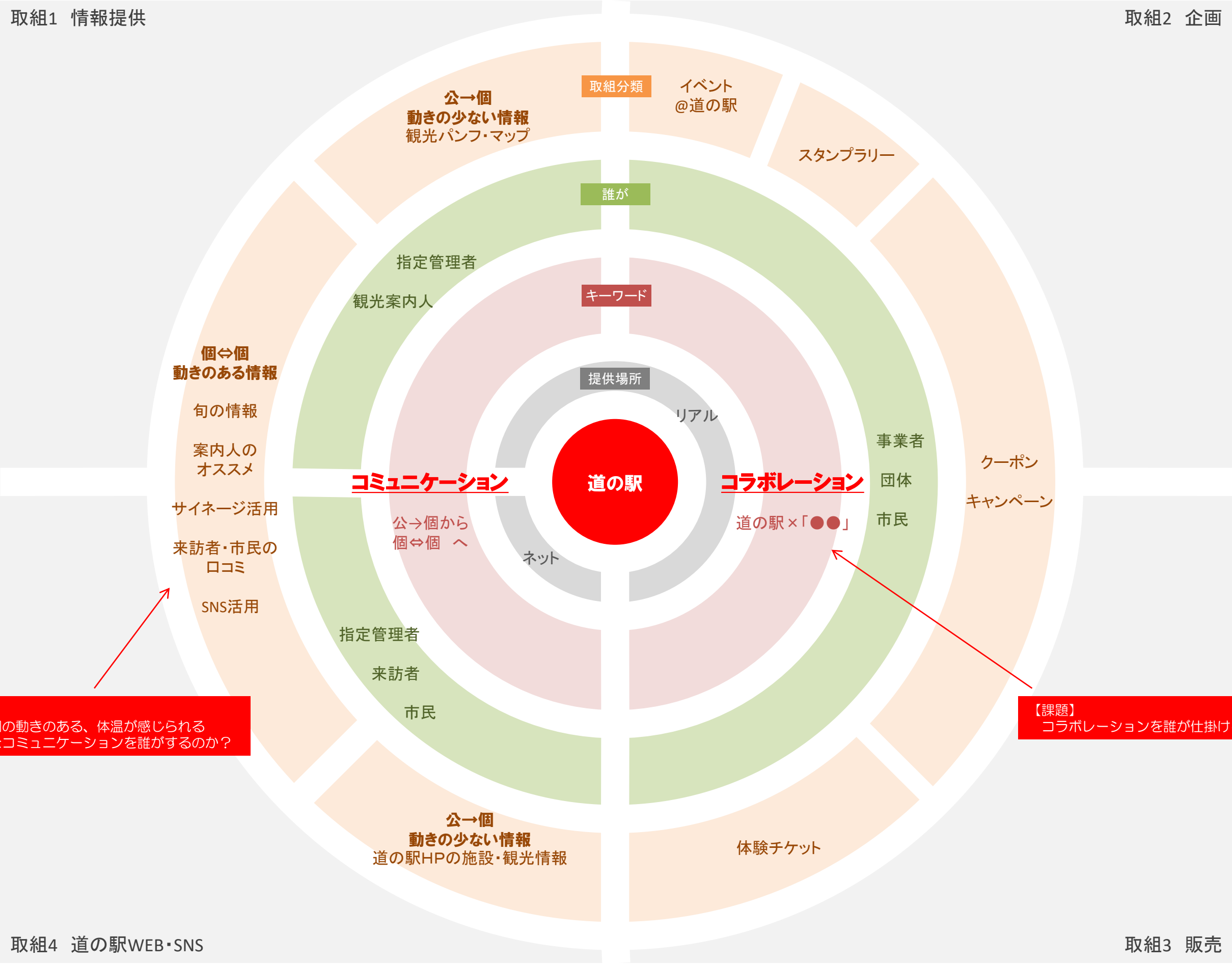
例 飲食店との連携の必要性、ターゲットに沿った情報提供の必要性 など

方針・考え方をさらに議論

3. 上記1, 2についての具体的な取り組みに関するアイデア

例 道の駅で健康をテーマにイベントをする、米づくり体験メニューをつくる など

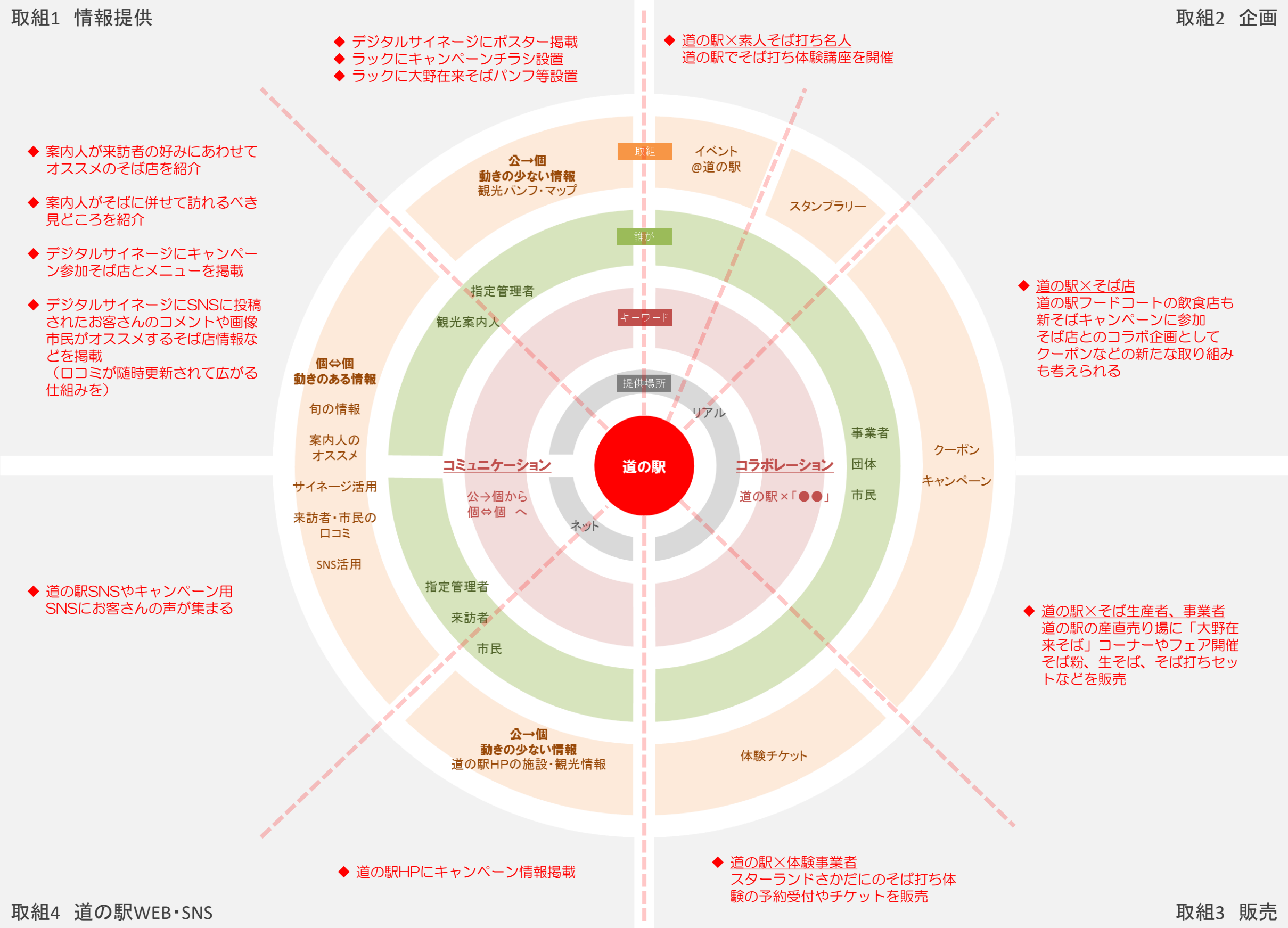
回遊性を高めるための方針モデル



【課題】
 個⇔個の動きのある、体温が感じられる
 マメなコミュニケーションを誰がするのか？

【課題】
 コラボレーションを誰が仕掛けるか？

具体的な取り組みイメージ① 「道の駅×新そばキャンペーン」



取組1 情報提供

取組2 企画

- ◆ 市内だけでなく、県内のアウトドアに関するすべての情報を集約
アウトドア情報の拠点を目指す
- ◆ 案内人が各山の登山道への行き方を案内
- ◆ 案内人が市内、県内のキャンプ場の情報をお知らせ
 - ・景色がよいキャンプ場
 - ・設備が整っているキャンプ場
etc
- ◆ デジタルサイネージにキャンプ場利用者の声や登山者の声など、SNSに投稿されたコメントを掲載

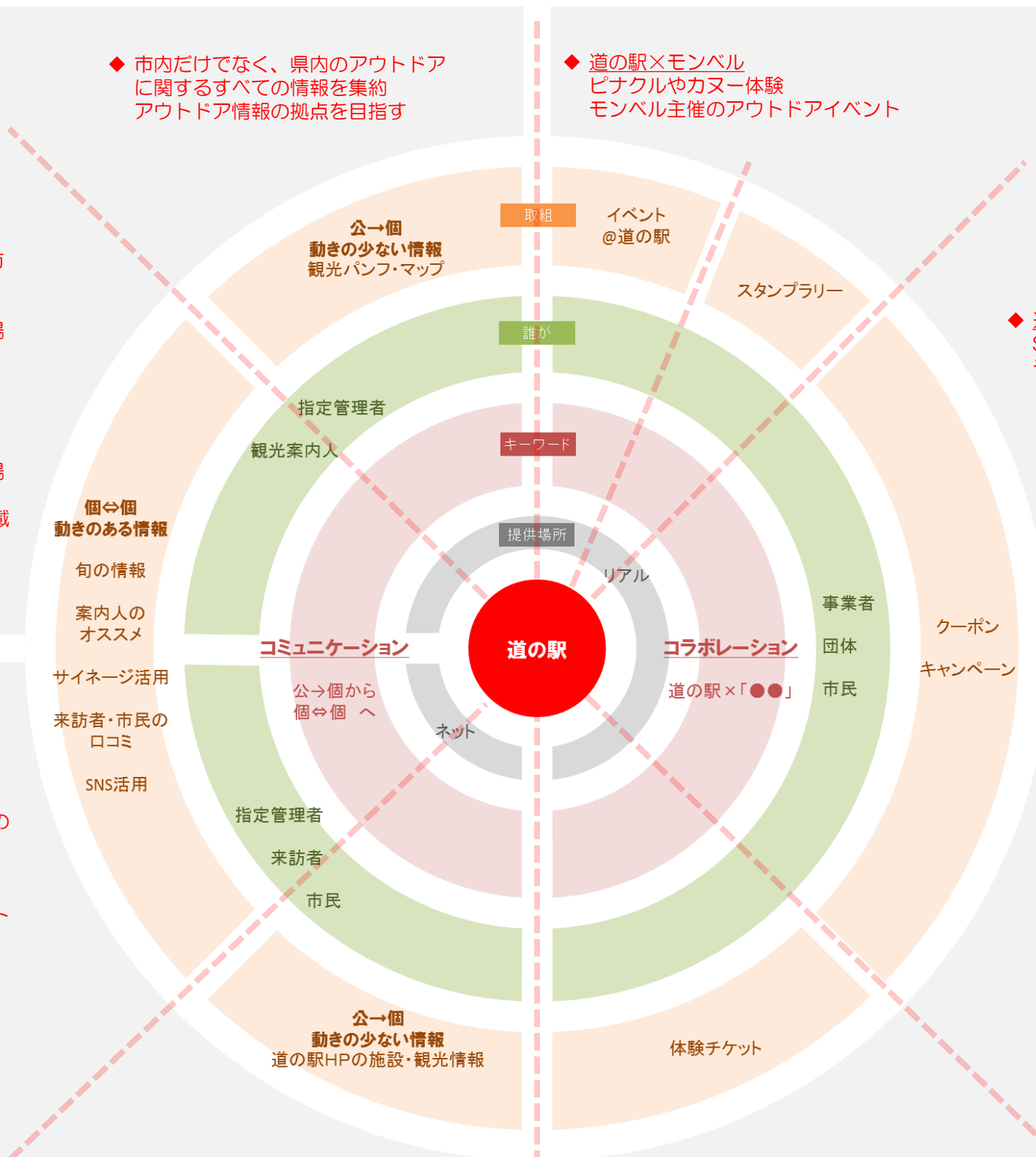
- ◆ 道の駅×モンベル
ピナクルやカヌー体験
モンベル主催のアウトドアイベント

- ◆ 道の駅×モンベル
SNSに投稿してくれた方に、モンベル製品をプレゼント

- ◆ 道の駅×飲食店
道の駅フードコートや飲食店で鮎や溪流魚のメニューを販売

- ◆ 道の駅SNSなどで、荒島岳などの登山に関する情報を掲載
(登山道、花や樹木、鳥など)
- ◆ 道の駅SNSを通じて市内でアウトドアを楽しんだ方の声が集まる

- ◆ 道の駅×登山ガイド、キャンプ場、漁協
登山ガイドと行く、荒島岳登山ツアーのチケットを販売
キャンプ場の予約やチケットを販売
大野と奥越漁協の遊魚券を販売



取組4 道の駅WEB・SNS

取組3 販売

大野ならではの観光体験メニュー開発事業

企画提案書

大野観光自動車株式会社

1 企画提案の内容

- (1) 提案方針
 - ・県外のよりの来大野客に向けて、福井県、特に大野市に特化して大野の他には無い魅力を訴求してゆきたい。
- (2) 体験型の企画
 - ・造成する体験型旅行の企画案の内容
 - (ア) 旅行名：**普段着で、しな~っと体験①-⑦**
 - (イ) 個別の旅行のコンセプト：**大野の自然とふれあい、美味しい食材を狩る、捕る、食べる。**
 - (ウ) コース案：別紙による。大野地区限定、自家用車又はレンタカーにて来大野のお客様を各専門員が先導車でご案内する。
 - (エ) 想定するターゲット：①熟年夫婦、②③④⑥家族、⑤⑦親子
 - (オ) 催行の日程：別紙企画の催行日による。
 - (カ) 送客効果：すべて2名からの催行のため概ね催行決定。
 - (キ) 旅行代金：**お一人様@ 8,000円(税抜)**
 - (ク) アピールポイント：**福井県の有数の観光地(恐竜博物館、東尋坊、永平寺)を立ち寄ったあと、若しくは立ち寄る前に少しの時間を体験することにより福井県内での滞在時間を延ばし又誘客に繋げたい。それによりまだまだある福井県、特に大野の良さ、素晴らしさを知ってもらいたい。**
 - (ケ) スケジュール：別紙内容による。
- (3) 旅行の募集・広報
 - ・弊社WEB、大野市漁業協同組合HP、大野市観光協会等、各種メディアによる告知。
- (4) 体験型旅行の催行管理・旅行の提供
 - ・別紙業務の実施体制調書による。

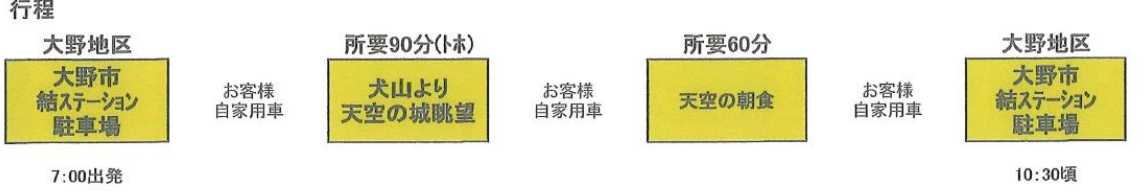
【普段着で、しな~っと体験②】 【わさび新芽摘みとわさび漬け体験】



催行人員 2名様より
 ご出発日 3月末~4月中旬の午前・午後の2コース
 所要時間 3時間
 添乗員 添乗員はつきませんが、現地係員もしくは農林業が「伴」がご案内します。
 食事 なし
 お土産 作ったわさび漬けと大野の特産品付
 ほか 作業着1式(ジャンパー、ズボン、手袋、長靴ほか)用意
 料金に含まれるもの ガイド料、食事代、入山料、旅行取扱料金(旅行災害補償制度)がふくまれております。



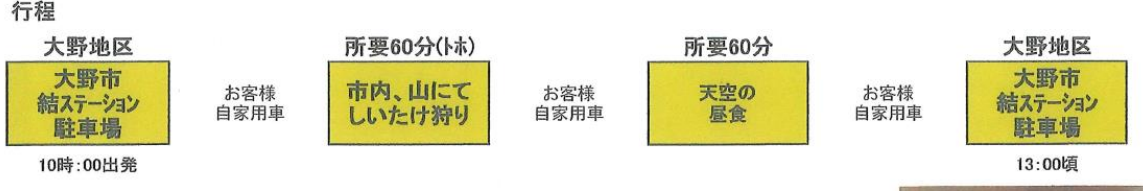
【普段着で、しな~っと体験①】 【天空の城眺望と朝のごっつお】



催行人員 2名様より
 ご出発日 11月~3月 *天候により天空の亀山城が眺望できない場合があります。
 所要時間 3.5時間
 添乗員 添乗員はつきませんが、現地係員もしくは現地観光が「伴」がご案内します。
 食事 朝食1回
 お土産 大野の特産品付
 ほか 防寒着1式(ジャンパー、ズボン、手袋、長靴ほか)用意
 料金に含まれるもの ガイド料、食事代、入山料、旅行取扱料金(旅行災害補償制度加入)がふくまれております。



【普段着で、しな~っと体験③】 【原木しいたけ狩りと昼のごっつお】



催行人員 2名様より
 ご出発日 通年
 所要時間 3時間
 添乗員 添乗員はつきませんが、現地係員または農林業ガイドがご案内します。
 食事 昼食1回
 お土産 原木しいたけと大野の特産品付
 ほか 作業着1式(ジャンパー、ズボン、手袋、長靴ほか)用意
 料金に含まれるもの ガイド料、食事代、入山料、旅行取扱料金(旅行災害補償制度)が含まれております。*昼食イメージ



【普段着で、しな〜っと体験④】 【大野の里いも、狩り体験】

行程



催行人員 2名様より
 ご出発日 10月~11月の平日
 所要時間 3時間
 添乗員 添乗員はつきませんが、現地係員もしくは農林業ガイドがご案内します。
 食事 なし
 お土産 大野のさといもと大野の特産品付
 ほか 作業着1式(ジャンパー、ズボン、手袋、長靴ほか)用意
 料金に含まれるもの
 ガイド料、入畑料、旅行取扱料金(旅行災害補償制度加入)が含まれております



【普段着で、しな〜っと体験⑤】 【大野の鮎、つり体験】

行程



催行人員 2名様より
 ご出発日 6月~9月の平日、午前・午後の2コース
 所要時間 3時間
 添乗員 添乗員はつきませんが、漁業組合員がご案内します。
 食事 なし
 お土産 釣った鮎と大野の特産品付
 ほか 釣り着・釣り具1式(ウェーダー、足袋、釣り竿、仕掛け、タモほか)用意
 料金に含まれるもの
 指導料、遊漁料、旅行取扱料金(旅行災害補償制度加入)が含まれております。

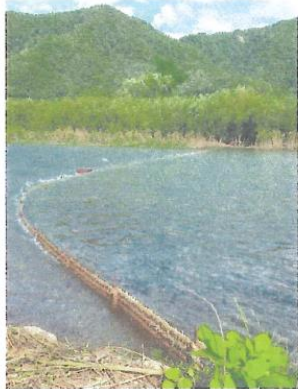


【普段着で、しな〜っと体験⑥】 【大野の鮎網漁体験】* 河原での落ち鮎取り外し

行程



催行人員 2名様より
 ご出発日 9月~10月初めの平日、午前・午後の2コース
 所要時間 3時間
 添乗員 添乗員はつきませんが、漁業組合員がご案内します。
 食事 なし
 お土産 捕った鮎と大野の特産品付
 ほか 網漁着1式(ウェーダー、足袋、手袋ほか)用意
 料金に含まれるもの
 指導料、遊漁料、旅行取扱料金(旅行災害補償制度加入)が含まれております。



【普段着で、しな〜っと体験⑦】 【大野の渓谷ヤマメ・イワナ、つり体験】

行程



催行人員 2名様より
 ご出発日 2月~9月の平日、午前・午後の2コース
 所要時間 3時間
 添乗員 添乗員はつきませんが、漁業組合員がご案内します。
 食事 なし
 お土産 釣った魚と大野の特産品付
 ほか 釣り着・釣り具1式(ウェーダー、足袋、釣り竿、仕掛け、タモほか)用意
 料金に含まれるもの
 指導料、遊漁料、旅行取扱料金(旅行災害補償制度加入)が含まれております。

